

講義名称	日本文化財論	担当教員名	高山 有紀
科目群	人文学 (HUM)		
科目区分等	芸術 CA7 DI5	単 位	2
対象学年次	1年・秋学期	ナンバリング	HUM153

授業のキーワード	重要文化財（国宝）、世界遺産、地域と文化財
授業の概要	奈良や京都の著名な文化財、群馬の文化財等を通じて、「文化財とは何か」について学びます。
期待される学習成果（目標）	1、歴史の学習で触れてきた文化財について、改めて正しい知識を得ることができます。 2、めざましく変動する現代社会において「普遍的な価値は存在するのか」について、ともに考えることができます。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	はじめに	授業の進め方について説明します。
2	文化財の基礎知識	文化財に関わる基本的な用語の意味や、文化財保護法について学びます。
3	建造物①	国の重要文化財に指定されている文化財のうち、建造物を題材に学びます。
4	建造物②	国の重要文化財に指定されている文化財のうち、建造物を題材に学びます。
5	美術工芸①	国の重要文化財に指定されている文化財のうち、彫刻を題材に学びます。
6	美術工芸②	国の重要文化財に指定されている文化財のうち、彫刻を題材に学びます。
7	中間課題（グループ・個人を選択）の準備①	国の重要文化財のうち、建造物か彫刻の中から1点を選びレポートの準備をします。
8	中間課題（グループ・個人を選択）の準備②	国の重要文化財のうち、建造物か彫刻の中から1点を選びレポートの準備をします。
9	中間課題の報告	提出された中間課題のうち、優れたレポートを数件選び報告してもらいます。
10	美術工芸③	国の重要文化財に指定されている文化財のうち、絵画・工芸品を題材に学びます。
11	美術工芸④	国の重要文化財に指定されている文化財のうち、絵画・工芸品を題材に学びます。
12	美術工芸⑤	国の重要文化財に指定されている文化財のうち、絵画・工芸品を題材に学びます。
13	書籍・古文書	国の重要文化財に指定されている文化財のうち、書籍・古文書を題材に学びます。
14	群馬の文化財	国の重要文化財を中心に、群馬の文化財について学びます。
15	まとめ	本講での学習内容を総括します。

定期試験	文化財1点を選び、レポートを作成します。
授業時間外学習	第1～5講：文化財に関わるニュースに注目し、主体的に考えてもらいます。第6講：～10講：中間の課題を出します。第11～15講：授業でわからなかった語句の意味を調べてもらいます。
評価方法	授業への取り組み（リアクションペーパー、中間課題等）30パーセント、レポート70パーセント
使用する教科書（必ず購入してください）	プリントを配布します。
参考文献	池田寿『日本の文化財 一守り、伝えていくための理念と実践一』勉誠出版 西村幸夫・本中眞編『世界文化遺産の思想』東京大学出版会